

5月定例会

# 市長の所信表明と 市政報告



門脇 樞夫 市長

平成十五年一月に設

立した合併協議会も一度協議中断のアクシデントはありましたが、協議会再設置後の協議が整い平成十八年三月一日に香美市としてスタート致しました。

その後の市長選挙におき、無投票という有難い結果を頂き市長に就任いたしましたこと成りました。もとより浅学非才の身であり、その任に有らざるの思いは承知致しておりますが、今日まで合併協議に深く関わってきた者の一人として、その責任を果たすべく懸命の努力を重ねる覚悟でありますのでご指導はもとよりご協力のほどをよろしくお願い致します。

さて、私は市長選に

望むに当たり市民の皆様へご挨拶をさせて頂くため、市内各地を訪問し、多くの市民の皆さんとお会いし、お話をする機会を持つことが出来ました。そして

新市に対する期待と同時に不安を持たれていらっしゃる方が多く居ることをこの身で感じてまいりました。そこで初登庁の日、職員に対して「市民の合併への不安を少しでもやわらげるためにも、仕事に対して自覚と責任を持ち、住民の皆さんに対して親切で丁寧な対応を心がけるよう」命じたところ。市役所での対応だけで住民の合併への不安が解消される

とは思っていませんが、

今後も職員の資質の向上は住民から信頼される行政として最も大切な事であり、特に重要な事であり、特に重要視していかなければと考えています。

また、私自信今回の

市長選での無投票という結果を考えた場合、表に出てこなかった「声なき声」を大切に



本庁舎

## 急がれる発注

建設都計課

十八年度事業は、繰り越し事業も含め未発注の工事が多いが、工期内完成に向け、支所との連携を密に取り組む。

道路では、市道・大

宮小学校線など繰り越し事業が七件。十八年度は市道・後入線を始め、単独事業も含め十件。災害復旧事業では、

利用者が多く、好天の平日は千人、休日は二千人を超す入場者があり、相変わらず盛況である。けがも何人かであるが、大事には至っていない。

今年度は、黒土二号団地Dブロックの建築着手を予定し、平成十八・十九年度の事業で、鉄筋コンクリート造り四階建て二十四戸を整備する。

市道・西熊別府線など繰り越し事業と、十八年度事業を合せて二十三件あり、発注を急がなければならぬ。

秦山公園・こどもの広場は春休みに入って

## 進む下水道事業

下水道課

平成十七年度の旧土佐山田町内の公共下水道事業等では、北組西及び北本町一丁目の区

域、約七、六haの面整備を行い、十八年四月一日現在で、市街地における処理区域面積が

